



「乗り越えられない壁はない」

校長 濱下 昌也

先日、メルボルンで行われた大会で競泳女子の池江璃花子選手が優勝した記事を目にしました。彼女は約5年前に白血病にかかりました。それは、彼女が選手として全盛であり、2020年に行われる東京オリンピックまで1年半と迫った頃の出来事でした。

当時、彼女は死という恐怖と不安に直面しましたが、SNSで「私は、神様は乗り越えられない試練を与えない、自分に乗り越えられない壁はないと思っています。もちろん、私にとって競泳人生は大切なものです。ですが、今は、完治を目指します」と発言しました。彼女は周囲への感謝や配慮の気持ちを述べ、骨髄バンクの登録者数の増加や同じ病で苦しむ患者の方々に勇気を与えました。

その後、彼女は病と戦い念願の東京オリンピックへ出場しました。現在は、8月にパリで行われるオリンピックの出場に近い位置で活躍しています。彼女は辛い闘病生活を乗り越え、現在の位置に戻ってきたのです。

実はちょうど5年前に同じタイトルで下川商通信を発行したことがあります。池江選手の現在の活躍を記した記事を見たときに、彼女の強さを改めて痛感しました。同時に、「できない思い込みも、できる思い込みも強さは同じだ」という言葉を思い出しました。私たちは「できる」か「できない」、「やる」か「やらない」の選択を日々重ねています。生徒の皆さんには同じ思い込みであれば、池江選手のように、「やる」という選択を積極的にして、「できない」思い込みから脱却し、「できる」思い込みを育み続けてほしいと思っています。

明日卒業を迎える3年生は4月から新社会人となります。新たな環境で不安なことや上手くいかないこと、理不尽なことなど、多くの試練や不安で壁にぶつかることもあるかもしれません。しかし、どのような時も感謝の気持ちを忘れず、前向きに物事を捉え主体的に取り組み続けてくれることを願っています。

ただし、色々な壁にぶつかりどうしても耐えられなくなったときは一人で抱え込まず家族や友人、学校に頼ってゆっくり羽を休めてください。また進めば良いのだから。

「君たちに乗り越えられない壁はない」と信じ、これからの人生が幸多き日々となることを祈っています。

祝進路決定率16年連続100%達成

今年度の3年生の進路決定状況が100%(16年連続)となりました。進学においては、4年制大学に4名、短期大学3名、専門学校9名、就職については公務員4名、民間企業11名という状況でした。4月から新しいステージで活躍されることを期待しています。また、採用いただきました企業や学校の皆様、ありがとうございました。今後ともよろしくお願い申し上げます。

【進学】

4年制大学:札幌学院大学、北海道情報大学、早稲田大学、東海大学

短期大学:旭川市立大学短期大学部、北海道武蔵女子短期大学(2名)

専門学校:北海道立旭川高等技術専門学院、札幌スポーツ&メディカル専門学校、

札幌ベルエポック製菓調理専門学校、国際文化理容美容専門学校、北海道芸術デザイン専門学校、札幌どうぶつ専門学校、経専音楽放送芸術専門学校、青山建築デザイン・医療事務専門学校



【就職】

公務員:北海道職員(2名)、陸上自衛隊一般曹候補生(2名)

民間企業:協同組合ウッディしもかわ、N'sファーム、ちば歯科医院、美深町商工会、美田建設工業株式会社、ワタキューセイモア株式会社、株式会社層雲閣、柏倉建設株式会社、雪印メグミルク株式会社、野口観光株式会社(職業訓練生2名)



スキー遠足 ～名寄ピヤシリスキー場～

2月5日(月)名寄ピヤシリスキー場において、スキー遠足を実施しました。本校では冬季期間、体育の授業はスキー学習を行っており、生徒たちはこの日に向けて練習を重ねてきました。また、当日は天気にも恵まれ、日頃の成果を発揮して、元気いっぱい滑走をしていました。



除雪ボランティア活動

2月8日(木)下川町立特別養護老人ホーム「あけぼの園」の除雪ボランティア活動を実施しました。1・2年生の生徒たちは学校から除雪用具を運び、グループに分かれ施設周辺の除雪活動を行いました。除雪後は園内で施設を利用されている方々と交流をしました。



スキー部大会報告



第73回全国高等学校スキー大会

- ◇男子スペシャルジャンプ
 - 優勝 杉山 律太 (3年)
 - 4位 西田 蓮太郎 (2年)
 - 15位 廣波 琉海 (3年)
 - 26位 小林 裕大 (1年)
- ◇男子コンバインド
 - 9位 廣波 琉海 (3年)
- ◇女子スペシャルジャンプ
 - 2位 齋藤 優 (3年)
 - 15位 小森 野々花 (3年)

全国高等学校選抜スキー大会(長野県) スペシャルジャンプ

- ◇男子組
 - 13位 廣波 琉海 (3年)
 - 14位 小林 裕大 (1年)
- ◇女子組
 - 2位 岩崎 里胡 (3年)
 - 4位 齋藤 優 (3年)
 - 13位 小森 野々花 (3年)
- コンバインド
 - ◇男子組
 - 8位 廣波 琉海 (3年)

第78回国民スポーツ大会冬季対人競技会(山形県)

- ◇少年男子ノーマルヒルスペシャルジャンプ 個人競技
 - 1位 坂野 旭飛 (3年)
 - 4位 杉山 律太 (3年)
 - 10位 西田 蓮太郎 (2年)
- ◇少年男子ルディックコンバインド
 - 12位 廣波 琉海 (3年)

2024 FISノルディックジュニアスキー

世界選手権2024ジャンプ(スロベニア)

- 男子団体 11位 坂野 旭飛 (3年)
- 男子個人 24位 坂野 旭飛 (3年)
- 女子団体 2位 岩崎 里胡 (3年)
- 女子個人 18位 岩崎 里胡 (3年)
- 混合団体 8位 坂野 旭飛 (3年)



3月の行事予定



| | | | |
|----------|----------------------|----------|-------------------|
| 3月1日(金) | 卒業証書授与式 | 3月14日(木) | 分野別進路ガイダンス(1, 2年) |
| 3月5日(火) | 入学者選抜学力検査(生徒休業日) | 3月15日(金) | CBA学力テスト(1, 2年) |
| 3月6日(水) | 入学者選抜面接(生徒休業日) | 3月18日(月) | 入学者選抜合格発表 |
| 3月7日(木) | 入学者選抜業務(生徒休業日) | 3月21日(木) | P T A役員選考会 |
| 3月11日(月) | 就職ガイダンス(2年) | 3月22日(金) | 大掃除・修了式・離任式 |
| 3月12日(火) | 午前授業 | 3月23日(土) | 年度末休業開始 |
| 3月13日(水) | (入学者選抜追検査) ※対象者ありの場合 | | |